

大田区新基本計画

第2回

大田区新基本計画策定に係る
区民ワークショップ 実施報告書

目次

第1章 「第2回 大田区新基本計画策定に係る 区民ワークショップ」について	3	第3章 アンケート	23
1-1. 開催の目的	4	3-1. ワークショップに対する参加者の満足度	24
1-2. 開催概要	5	3-2. 今後の区民参画への意向	25
1-3. 当日のスケジュール	6	3-3. ワークショップの中で気づいたことや感じたこと	26
第2章 区民の皆様による課題抽出の結果	8		
2-1. 全体概要	9		
2-2. 重点課題の選定	11		
2-3. テーブルの意見	17		

第1章

「第2回 大田区新基本計画策定に係る区民ワークショップ」 について

第1章 「第2回 大田区新基本計画策定に係る区民ワークショップ」について

1-1. 開催の目的

目的

- 令和3年度から始まる新たな基本計画の策定にあたり、区民参画の機会を確保するとともに、区民の大田区への思いやご意見を伺います。
- 区民の方からのご意見は、各施策のあるべき姿(目指す姿)の検討や施策立案に活用し、新たな基本計画へ反映します。

11月13日(水)、11月15日(金)、11月16日(土)

第1回区民ワークショップ

■ まちの方向性(あるべき姿)の検討

- ワールドカフェ方式で、広く区民から各施策のあるべき姿(目指す姿)をご意見として集める

12月11日(水)、12月13日(金)、12月14日(土)

第2回区民ワークショップ

■ まちの課題を検討・抽出

- グループワーク形式で6分野の課題を抽出する
- 割り当てられた担当分野での課題の掘り下げ

第1章 「第2回 大田区新基本計画策定に係る区民ワークショップ」について

1-2. 開催概要

開催日時	令和元年12月11日(水) 14時00分～17時00分 令和元年12月13日(金) 18時00分～21時00分 令和元年12月14日(土) 14時00分～17時00分
開催場所	入新井集会室(Luz大森) 大田区役所本庁舎
募集内容	区内在住の15歳以上の方
募集方法	無作為抽出により区内8,000人に案内状を送付
参加者	161名(全3回合わせて)
内容	<ul style="list-style-type: none">■ 各テーブルで6分野についてそれぞれ担当を割り当て、各分野についてテーブルメンバー全員で課題を検討し、話し合いを行う。■ その後、割り当て分野別に分かれ、それぞれ担当の分野について課題の掘り下げを行う。議論をしながら、課題をそれぞれグルーピングし、その中で最大3つの重点課題を選定する。

第1章 「第2回 大田区新基本計画策定に係る区民ワークショップ」について

1-3. 当日のスケジュール (1)全体

開催挨拶	■ 参加者への謝辞、開催の挨拶
開催の趣旨・大田区がめざすまちづくりの説明	■ 開催趣旨、大田区がめざすまちづくりなどの説明
本日の流れの説明	■ ワークショップの流れ、進め方の説明
アイスブレイク(1人1分自己紹介)	■ グループの中で自己紹介
担当割り当て・話し合い(第1ラウンド)	■ 各テーブルで6分野についてそれぞれ担当を割り当て、話し合い 「子育て・教育」 「健康・福祉」 「都市基盤・空港臨海部」 「産業」 「地域力」 「環境」
席替え	■ 割り当てられた分野ごと(各分野2テーブルずつの配置)になるよう席を移動
話し合い(第2ラウンド)	■ 分野ごとに課題の掘り下げ、グルーピング、重要課題の選定等の実施、共有

第1章 「第2回 大田区新基本計画策定に係る区民ワークショップ」について

1-3. 当日のスケジュール (2)ワークショップの流れ

- 2ラウンドにわたって、6つの分野における課題の抽出、重要課題の選定等を行いました。

ワークショップの流れ

第1ラウンド

- 6分野(子育て・教育、健康・福祉、都市基盤・空港臨海部、産業、地域力、環境)について各テーブルで課題の抽出をする。

各担当分野のテーブルに移動して休憩

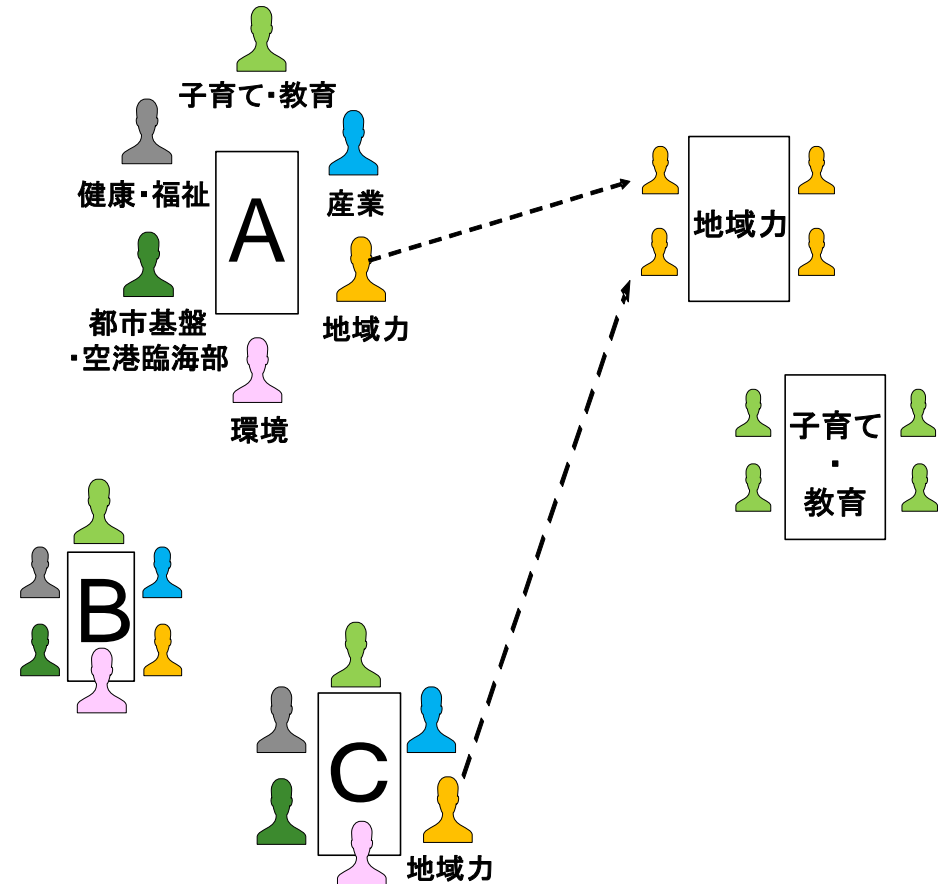
第2ラウンド

- テーブルで出た意見・課題を持ち寄り、グルーピングをする。各分野で出た課題の中で重点課題を選定する。(最大3つ)
- 課題に対する対応策の検討をする。

結果の共有

- 各分野のテーブル同士でどんな課題やグルーピングを行ったか、結果の共有を行う。

イメージ図

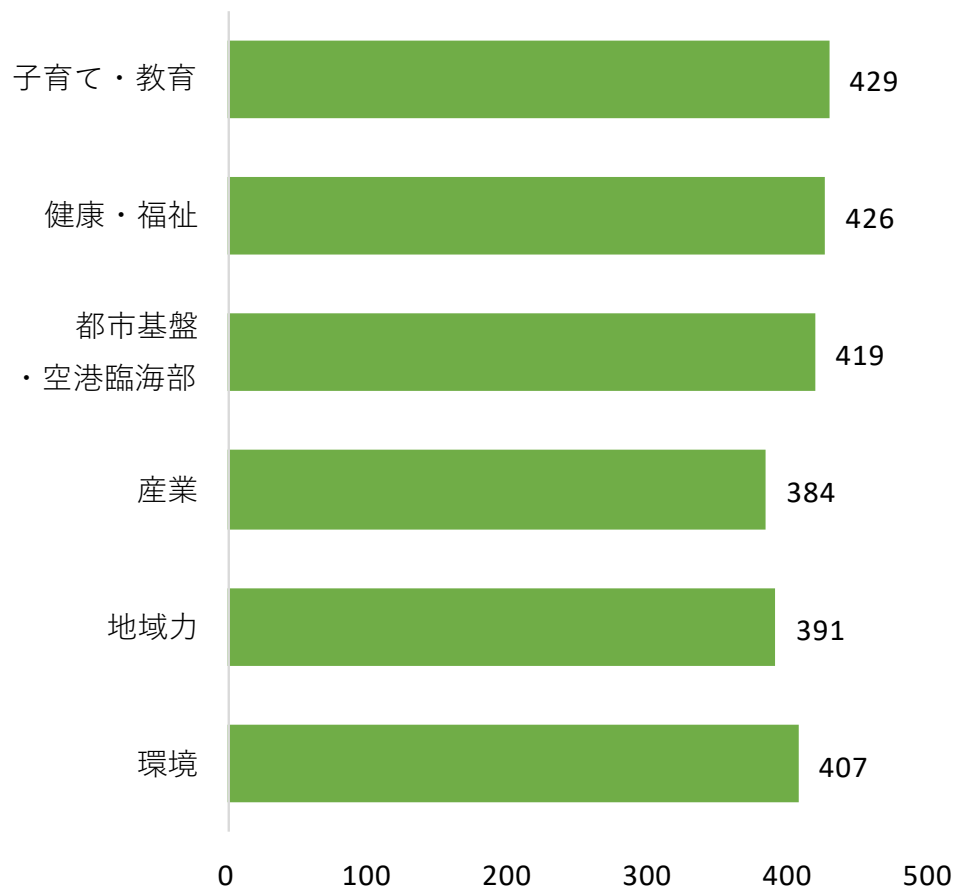


第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

2-1. 全体概要①

分類項目ごとの課題数(全3回分)

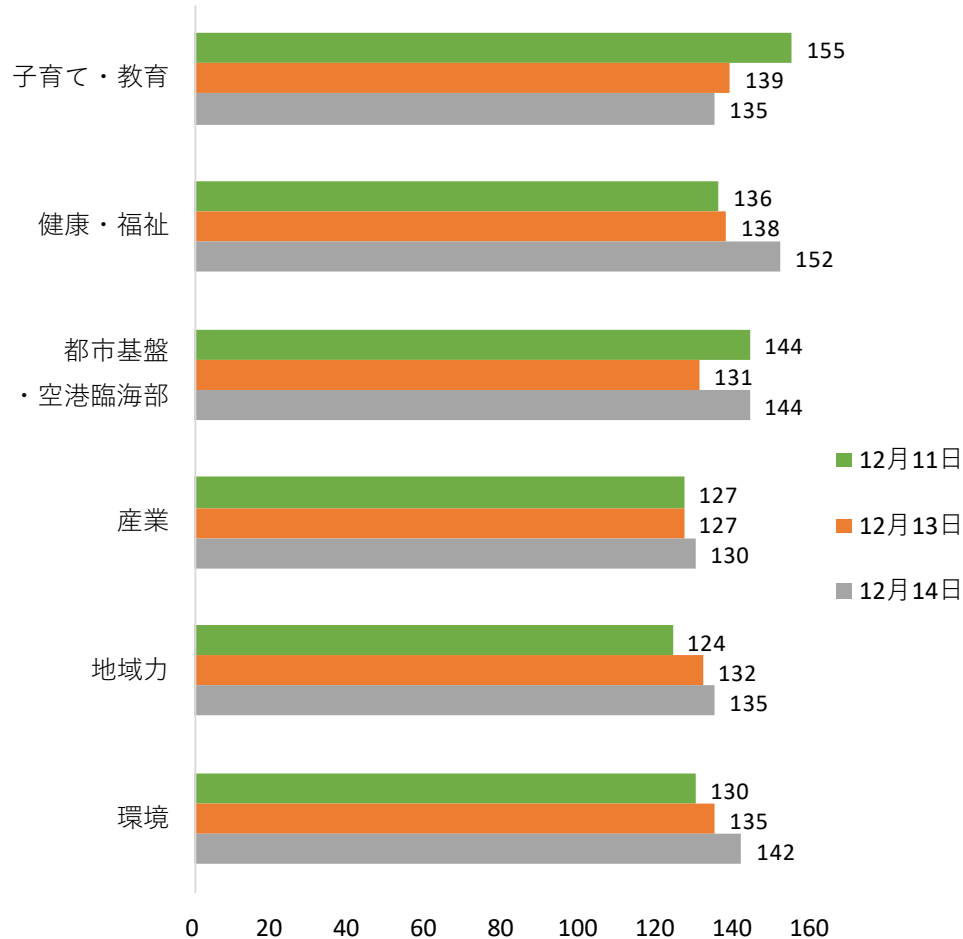


- 課題が書かれた合計2456枚の付箋を6つの分野ごとに分類しました。
- その結果、「子育て・教育」に関する課題が最も多く、429件でした。次いで、「健康・福祉」が426件、「都市基盤・空港臨海部」が419件、「環境」が407件、「地域力」が391件、「産業」が384件でした。
- 全体的に、「子育て・教育」、「健康・福祉」と「都市基盤・空港臨海部」に関心がある結果となりました。

第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

2-1. 全体概要②

分類項目ごとの意見数



- 12月11日の回は、「子育て・健康」に関する課題が155件と最も多く、次いで「都市基盤・空港臨海部」が144件、「健康・福祉」が136件、「環境」が130件、「産業」が127件、「地域力」が124件という結果となりました。
- 12月13日の回は、「子育て・教育」に関する課題が139件と最も多く、次いで「健康・福祉」が138件、「環境」が135件、「地域力」が132件、「都市基盤・空港臨海部」が131件、「産業」が127件という結果となりました。
- 12月14日の回は、「健康・福祉」に関する課題が152件と最も多く、「都市基盤・空港臨海部」が144件、「環境」が142件、「子育て・教育」と「地域力」が135件で同数、「産業」が130件という結果となりました。

第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

2-2. 重点課題の選定 ①子育て・教育

- 「子育て・教育」については、子育て支援、学校教育に関する課題が多くありました。

重点課題

カテゴリー	内容
子育て支援	親や子どもへのサポートを別々に行う 子育て家庭へのサポート
保育園のこと (待機児童問題)	待機児童
幼児	時間制で幼い子どもを預ける事が出来るように、いたる所の保育園で数時間でもやってくれるとありがたい
学力 (英語教育・IT)	学力レベルアップ
学校・学童	すべての小学校に放課後教室を開設する
学校教育	参加型の教育(地域の人達など)、小学生からお金の勉強をしていくようにする
教育	職業理解(ロールプレイ)、キッズニア
教育内容	英語教育
教育人材の育成	教育人材の育成
子どもの安全対策	安全安心
子どもの環境	下校時の街が暗い
放課後の児童	家庭・学校以外での子どもの居場所が少ない(地域との関わりが薄いなども含め)
地域との連携	教育側の待遇
公園	ボールが使える公園を増やして欲しい、京急の高架下の活用

対応策(アイデア)

- ✓ 児童相談所の職員確保・対策強化
- ✓ (教育人材について)先生の業務範囲を絞る
- ✓ 全クラス副担任制にする
- ✓ 街灯の定期的なメンテナンス

まとめ

- ✓ 子育て世代の支援に関する課題では、保育園の入園率の上昇や待機児童、児童相談所の機能拡充などが挙げられました
- ✓ 教育に関する課題では、教育人材の育成やお金や職業理解など幅広い学習内容の充実に関する意見が挙げられました

第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

2-2. 重点課題の選定 ②健康・福祉

- 「健康・福祉」については、世代や立場に応じた社会環境整備、高齢者サービスなどに関する課題が多くありました。

重点課題

カテゴリー	内容
医療	予防医療分野の学習の機会拡大 何処の病院に行ったら適切な医療受けられるかを教えてくれるコンシェルジュサービスがほしい
暮らし支援	一人暮らしの高齢者を見守る制度を作り、知らせる
健康指導	保健セミナー
健康増進	公園・小学校などを利用して健康づくり プールなど
健康作り	地域の健康づくりの場
高齢者向けサービス	健康なご老人でいてもらう
施設	空家を利用して老人ホーム、子ども食堂等への活用
障がい者	障がい者との心理的バリアの解消
スポーツ施設	予防医療の充実・検診・食事・運動
バリアフリー	バリアフリーな町づくり 施設のバリアフリー化(エレベーターの増設etc)
福祉	福祉手当のしくみがわかりづらい
分類なし	高齢者の積極的社会参加
分類なし	健診が特定の年代に限られるので、全年齢に対する定期健診の充実
分類なし	道路や駅周辺のバリアフリー化
分類なし	バリアフリーの標準化
分類なし	大田区健康食堂をつくるなど

対応策(アイデア)

- ✓ 高齢者を見守る制度の構築
- ✓ 空家の再利用(老人ホーム、子ども食堂など)
- ✓ バリアフリー化

まとめ

- ✓ 高齢者に関する課題が多く挙げられ、健康で安全な生活を行うための支援や環境整備、予防医療の拡充などの意見が出ました
- ✓ ほかに子ども食堂の開設、障がい者との関わりなどの課題も挙げられました

第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

2-2. 重点課題の選定 ③都市基盤・空港臨海部

- 「都市基盤・空港臨海部」については、交通網の整備、災害対策の強化に関する課題が多くありました。

重点課題

カテゴリー	内容
駅	蒲蒲線の是非
空港	外国人に優しいまちづくり
羽田空港へのアクセス改善	羽田へのアクセス向上
空港を楽しく!! もっと行きたい!!	空港のアミューズメント化
交通アクセス	空港へのアクセス(蒲蒲線)
交通整備	交通空白地帯を消す
道路	道路が狭い
PR・国際化	PR、大田区のイメージ向上が課題
観光	国際線ターミナル周辺の再開発と合わせ、他地域にもホテルや施設を設置して観光客を動かす
災害	災害に強い街に！多摩川の氾濫 ITを活用した防災対策
防災	避難場所を増やす お知らせ、アナウンス(台風がレベル5に達しましたとか)は全部日本語となっている。
防災対策	防災対策の情報
街並み	防犯

対応策(アイデア)

- ✓ 蒲蒲線に必要な予算の優先度を考える
- ✓ リスク重視した取組(避難所・ホームページ)
- ✓ (防災に関して)10年に1度の定義の見直し

まとめ

- ✓ 交通網整備の課題では、特に空港のアクセスの向上(蒲蒲線)が挙げられました
- ✓ 防災では、避難所の拡充やITを活用した防災対策など、災害に強いまちの構築に関する課題などが挙げられました

第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

2-2. 重点課題の選定 ④産業

- 「産業」については、観光業の整備、商店街や町工場への支援に関する課題が多くありました。

重点課題

カテゴリー	内容
観光	これだという名物
	空港にミニ日本を創る
	観光しやすい仕組み
商業	大田区と言えば「これ」と言えるものを作り、観光の1つの立ち寄り場所にする
商店街	商店街の活性化。個人商店への支援。民間と官で協力
	商店街に人が集まれるような工夫
PR	大田区の産業紹介
外向けPR	PRの強化(大田区ブランド)
羽田空港	横浜より先にIRを埋立地に誘致する 羽田に降りる外国人を滞在させる 羽田から埋め立て地への交通機関を設ける(例えば、舟等)
	羽田空港+α
羽田空港+α	観光モデルルート開発・空港・見学・町工場・大田市場・温泉
町工場	町工場の技術の継承、後継者を育ててほしい
	町工場のイメージはあるが、具体的に何があるか分からない(身近な生活に取り入れたい)
	工場のPR(見学、体験etc)
ものづくり	事業継承をよりしやすく(マッチング)
技術	下町技術とITのコラボ

対応策(アイデア)

- ✓ 大田区といえばこれだという名物をつくる
- ✓ 羽田空港の機能の拡充(観光地化)
- ✓ 町工場の後継者を育てる
- ✓ 観光モデルルートの構築

まとめ

- ✓ 商業や工業に関する課題では、商店街の活性化や町工場の後継者不足などが挙げられました
- ✓ 観光業に関する課題では、観光しやすい仕組みや名物の創出などが挙げられました

第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

2-2. 重点課題の選定 ⑤地域力

- 「地域力」については、コミュニティ・文化形成や生活環境の整備に関する課題が多くありました。

重点課題

カテゴリー	内容
情報発信	区の情報を知りやすくする
PRの問題	交流の場及びその告知
イベントの情報発信	地域のイベント 催し物の情報発信
交流の場	交流の場 ex)災害、福祉、子ども・教育
国際化	外国人が住みやすい地域を日本人と共に作れる
コミュニティ	地域力、マンションに住む人のコミュニティーをどうすればいいか。歴史を大切に する いじめられた子の逃げ場所
自治会	自治会、町会が必要である明確な説明が出来る事
地域交流	地域の人とコミュニケーション不足
文化	伝統的な町づくり手法の発掘
伝統文化	伝統、歴史の共有できるものがほしい
特徴付け	大田区の特徴を持つ。電車の発車ベル(出身アーティストの曲)
防災	安全パトロールの実態把握と促進 緊急時の地域の取組みを明確に
防災・治安	子どもだけで外で遊べる治安
治安	外に子どもたちの居場所を
治安の良いまちに	治安の良いまちづくり

対応策(アイデア)

- ✓ 区の情報が手に入りやすいようにする
- ✓ 緊急時における地域の対応を明確にする
- ✓ 子どもたちの居場所づくり

まとめ

- ✓ 地域の交流やコミュニティの形成、伝統文化の維持と外国人居住者との関わりなど、地域の連携と発展に向けた課題が多く挙げられました

第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

2-2. 重点課題の選定 ⑥環境

- 「環境」については、自然環境の保全、ごみ問題、公園の整備などに関する課題が多くありました。

重点課題

カテゴリー	内容
緑化	自然環境を残せるような開発を行い、緑を減らさない 緑の多い街づくり
環境	”みどり”の大田区、キャッチフレーズ
公園	”児童”公園だけでなく、大人、おじいちゃんもおばあちゃんもみんなの居場所
公園の価値UP	綺麗な公園の維持管理 ※定期的な掃除 ※継続的改善
公園緑化	トイレを含めた公園全体の整備
ゴミ	深夜のゴミ収集
	コンビニ・スーパー等でリサイクルBOXを置く
ゴミ問題	夜間実施のゴミ収集に賛成
リサイクル	行政主導でリユースしやすい街づくり
	フリマやワールドギフト寄付を地域で、いらぬものを共有
温暖化対策	省エネの実現(スマートシティ)
	クリーン先進区(緑)
自然エネルギー	河川敷太陽光：風力発電
太陽光	創エネ支援
災害	災害対策・地震・台風(備蓄量、場所、区での対応)
防災	災害時の避難場所周知
水関係	水害に強い街(先日の台風では多摩川の氾濫はセーフだったがマンホール氾濫した)

対応策(アイデア)

- ✓ 多摩川沿いの整備
- ✓ 公園全体の整備
- ✓ リサイクル活動がしやすい街
- ✓ 創エネルギー支援

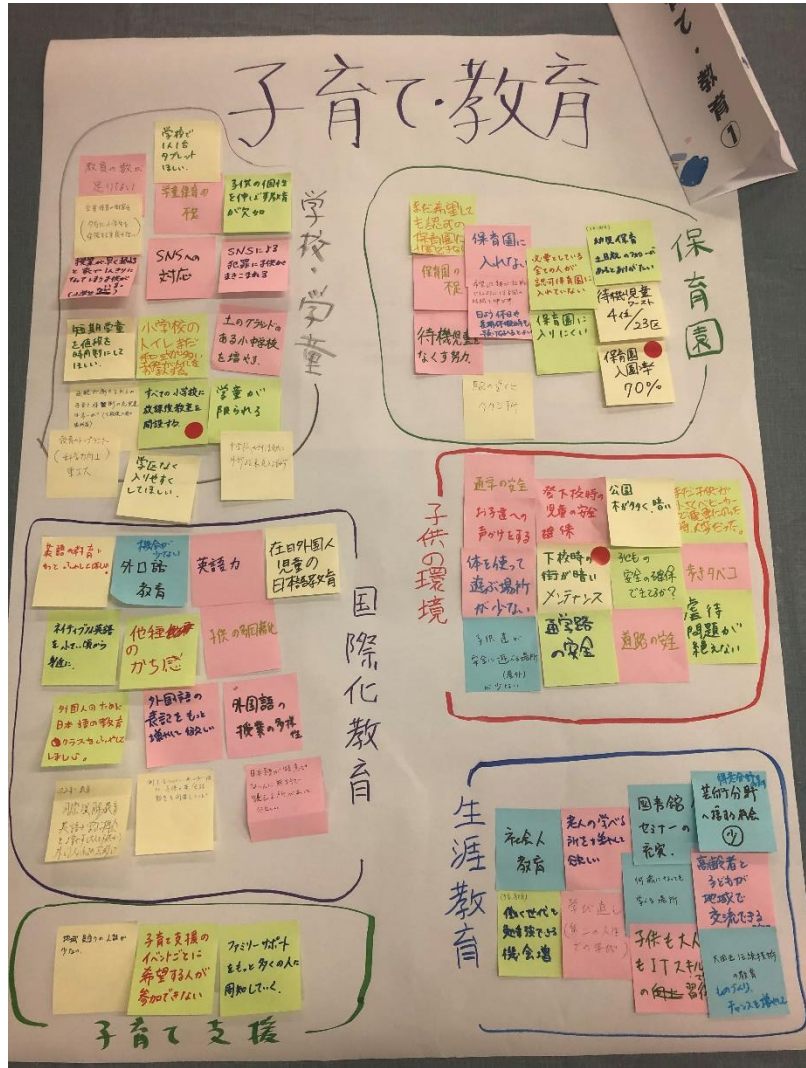
まとめ

- ✓ 環境に関する課題では、まち全体や公園の緑化などの課題が挙げられました
- ✓ そのほか、ごみ問題やリサイクル、温暖化対策のための自然エネルギーの利用促進などが課題として挙げられました

第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

2-3. テーブルの意見 ①子育て・教育

意見が書かれた模造紙
(一例)

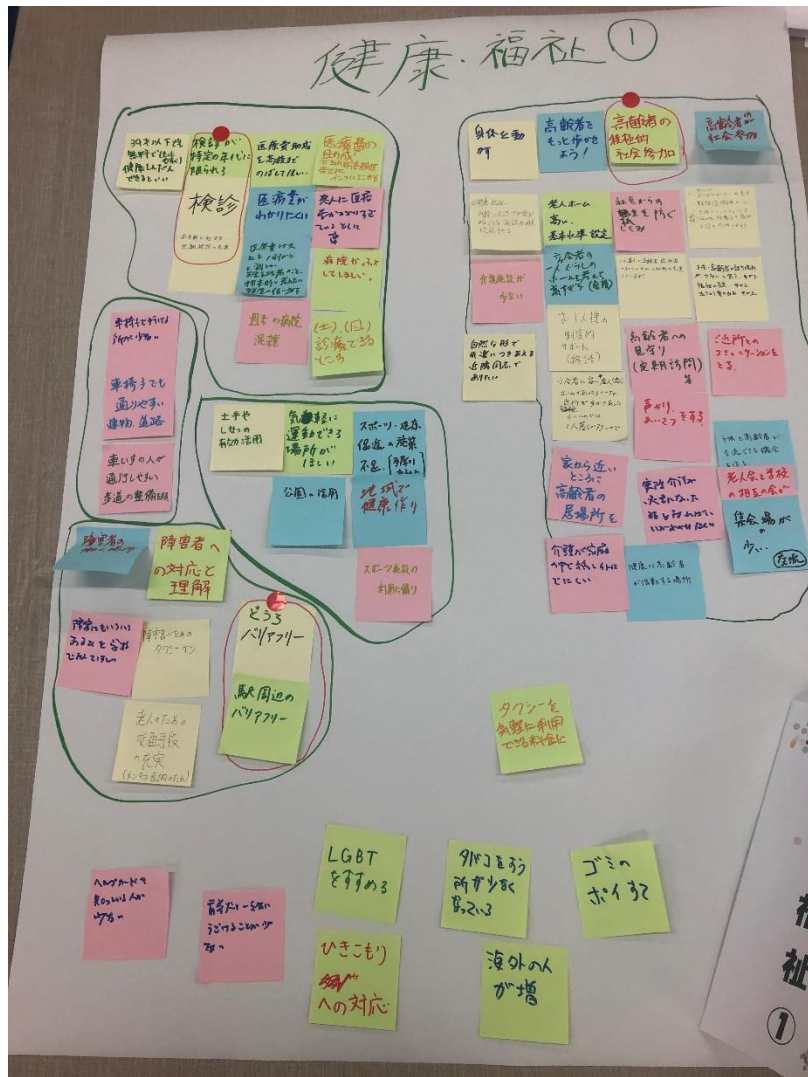


第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

2-3. テーブルの意見 ②健康・福祉

意見が書かれた模造紙

(一例)

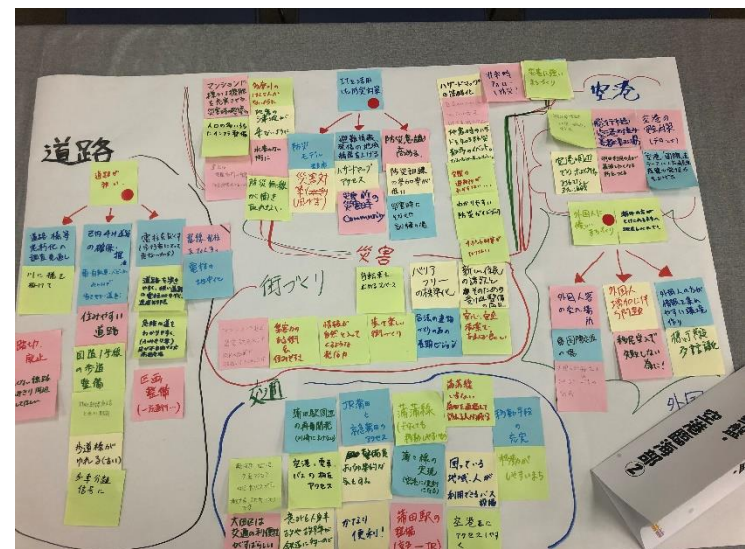
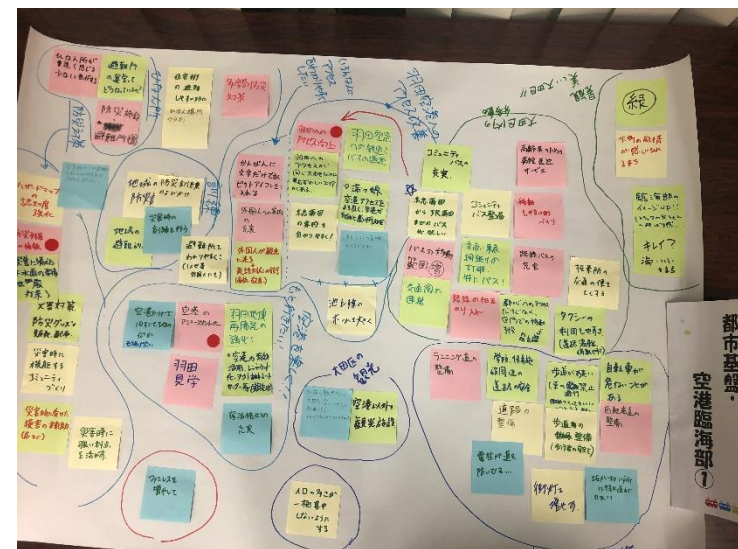
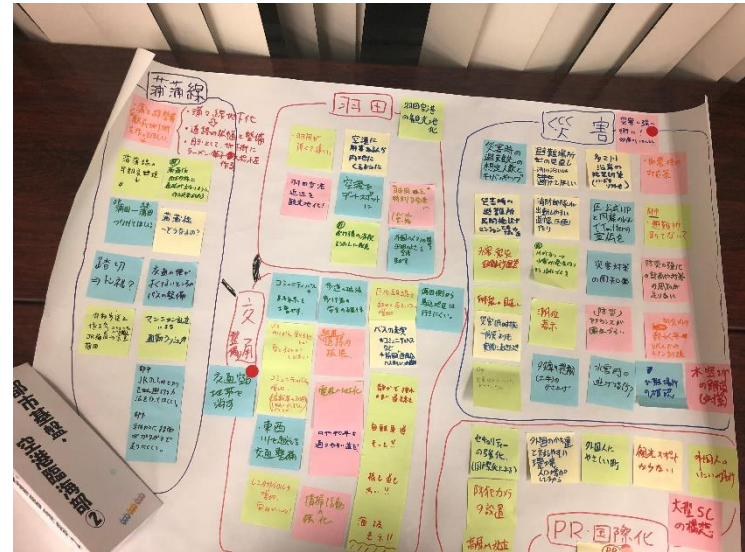


第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

2-3. テーブルの意見 ③都市基盤・空港臨海部

意見が書かれた模造紙

(一例)



第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

2-3. テーブルの意見 ④産業

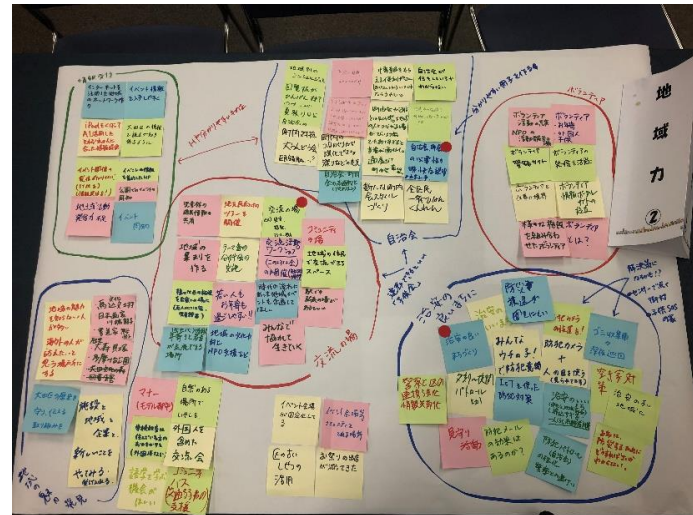
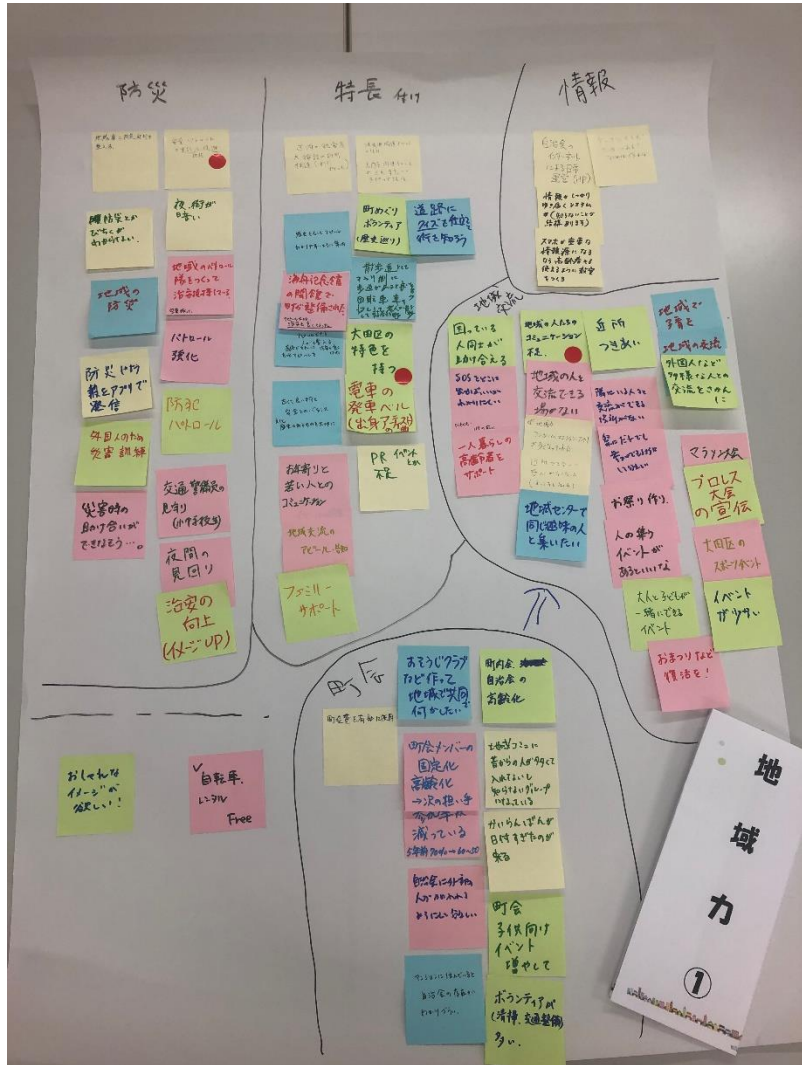
意見が書かれた模造紙
(一例)



第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

2-3. テーブルの意見 ⑤地域力

意見が書かれた模造紙
(一例)



第2章 区民の皆様による課題抽出の結果

2-3. テーブルの意見 ⑥環境

意見が書かれた模造紙 (一例)



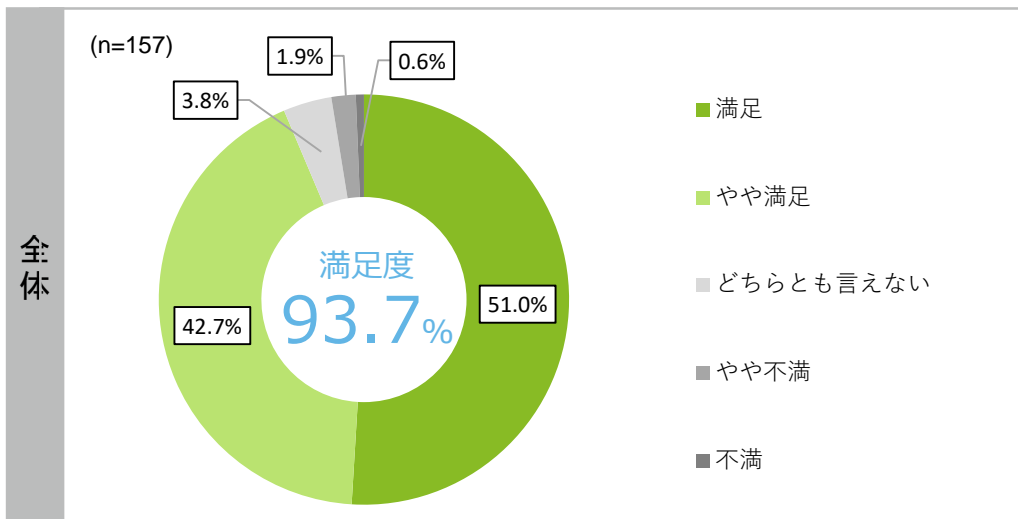
第3章 アンケート

第3章 アンケート

3-1. ワークショップに対する参加者の満足度

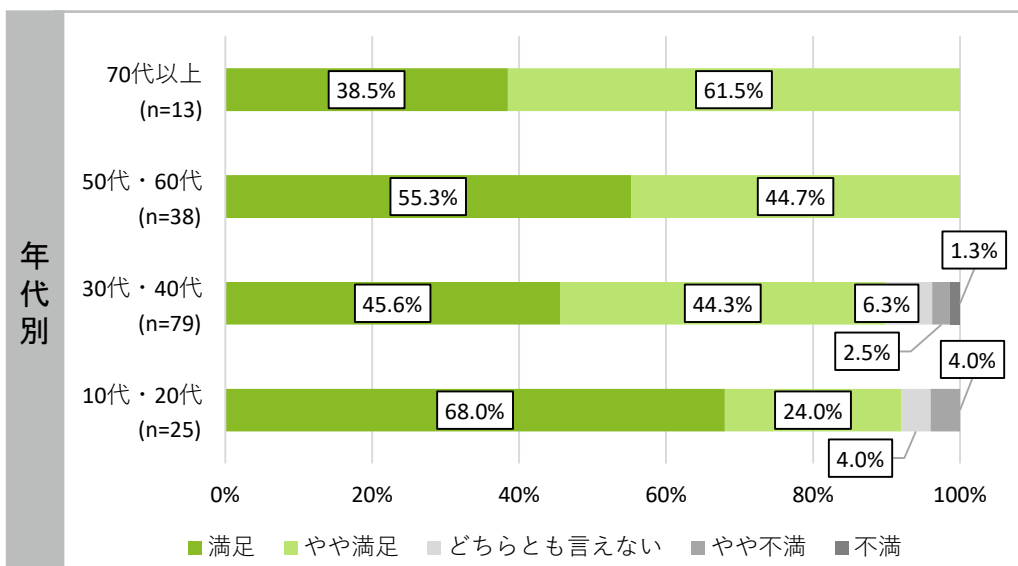
ワークショップについて9割以上が「満足(満足+やや満足)」と回答しました。

1-1. 本日参加された感想をお聞かせくださいー本日の区民ワークショップは満足いただけましたか？



▼ 主な意見【満足点】

- ✓ 自身の発想にない意見を聞くことができたため
- ✓ 前回よりも1つのテーマに対して深い意見が出た
- ✓ 前回より難しかったが、内容が濃かった
- ✓ 第2回目として適切な進行だった



▼ 主な意見【不満点】

- ✓ 時間がない
- ✓ 前回よりスムーズではなかった
- ✓ ファクトを確認する時間が必要(本当に課題か、何が課題かがわからない)

※アンケートの回収数は全部で157枚でした。

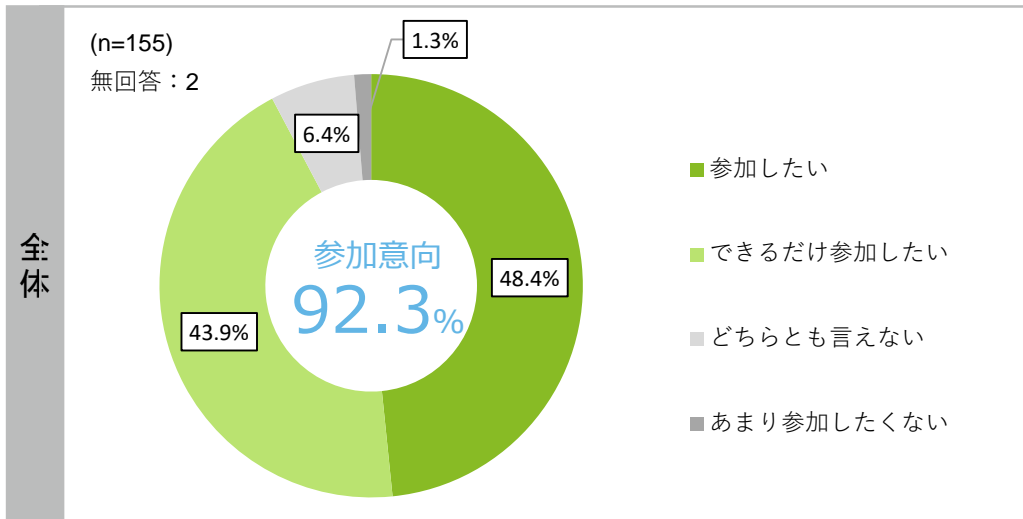
年齢未回答者(2名)については、年代別の集計結果には含めていません。そのため、年代別集計ではn=155となっています。

第3章 アンケート

3-2. 今後の区民参画への意向

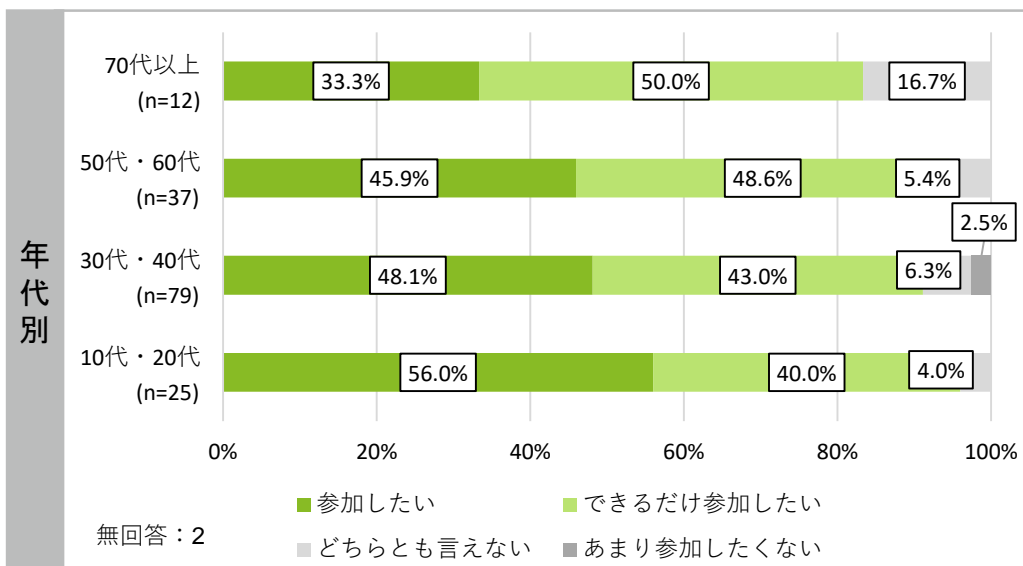
今後の区民参画についても9割以上が「参加したい(参加したい+できるだけ参加したい)」と回答しました。

1-2. 本日参加された感想をお聞かせくださいー区民参画の機会があれば、また参加したいと思いますか？



▼ 主な意見【参加したい理由】

- ✓ 貴重な機会だと思うから
- ✓ 大田区の未来の為にぜひ参加したい
- ✓ 住んでいる町がより良くなるのであれば、参加したい
- ✓ 区政について考える機会はなかなかないから
- ✓ 色々な知識が増やせる機会なので参加したいと思う



▼ 主な意見【参加したくない理由】

- ✓ 自分が良い意見を言えなかったから

※アンケートの回収数は全部で157枚でした。

無回答(2件)については、全体の集計結果には含めていません。また、年齢未回答者(2名)については、年代別の集計結果には含めていません。そのため、年代別集計ではn=153となっています。

第3章 アンケート

3-3. ワークショップの中で気づいたことや感じたこと①

多様な意見を取り入れ、区民にとって住みやすい大田区を目指した計画策定や策定過程の情報発信を求める声が挙がりました

2.本日の区民ワークショップの中で、気づいたことや感じたことがあればお聞かせください。

分類	内容
大田区について	• 自身も含めてであるが、やはり自分の目の前の顕在化した課題への意識が強いと感じた。問題の根本や、着手する優先順位などの話ができれば、もっと高い視座で、広い視野で大田区の未来を考えることができると思う
	• 様々な年代の方や価値観の人がいて、気づかないことや、発見・同じ意見ということがたくさんあり、おもしろかった
	• 大田区の住民なのに人からおしえてもらうことが多く、自分にとってもっと大田区を知りたくなる機会だった
	• 若い人も含め、大田区の今の雰囲気、町を残したい人が多いことにおどろいた
	• 大田区の防災に関する対策やリスク管理について、大田区のHPの防災計画では、不十分と感じた
計画の策定について	• このあと、区の方々が有識者を集め、どのように発展させていくのか大きな期待が持てる
	• 10年に一度ではなく、定期的にワークショップのような区民参画の場を開催してほしい
	• 可能であれば、策定プロセスや途中経過など、アピールをかねて区報やHP等でオープンにしてほしい
ワークショップの運営について	• 進め方が慣れている人、そうでない人がいるのでファシリテーターできる人が各グループ1人くらいいるといいのではと思った
	• 各テーブル5～6人だと、各15分だと足りない事が多かった
	• ゴールの設定(提案なのか、解決なのか)をもう少し具体的にして欲しい
	• ワークの中で、テーマごとに考える、ということを事前にもう少し教えてもらえれば、参加前に準備できたと思う
	• 今回は説明が長く感じた 担当分けが逆に窮屈に感じ、アイデアが出しづらかった
• 時間の関係上、難しいと思うが、休み時間を増やしていただけるとありがたい	

第3章 アンケート

3-3. ワークショップの中で気づいたことや感じたこと②

多様な意見を取り入れ、区民にとって住みやすい大田区を目指した計画策定や策定過程の情報発信を求める声が挙がりました

2.本日の区民ワークショップの中で、気づいたことや感じたことがあればお聞かせください。

分類	内容
ワークショップの感想	• 初めて参加したが、私と同じ様に考えている方々が居て、心強く感じたり自分が今迄考えていなかった課題を考える機会が持て充実した時間を過ごした
	• 意見を述べられる人が多いと感心した
	• 皆様、様々な意見をもっており、自分も今まで以上に大田区のことに関心がもてるようになった
	• 皆様と楽しく、区政を話すことが出来てうれしく思った
	• たくさんの区民の方と話ができ、楽しかった
	• 前回は参加したが、今回は最初に同年代の方とグループを組まれ、緊張することなく意見や案を出せた
	• お茶とお菓子があり、リラックスしたやわらかい雰囲気の中でゆったりと自由に話し合いができ、楽しかった
	• 足りないところを補い合う意見交換ができて、充実感と地域に対する愛着が沸いた
	• 大田区について知らなかったことに気づけた
	• 皆さん積極的に意見を出していただき、勉強になった
	• 参加した皆様の考えを聞いて、とても参考になり、考えさせられた
• 大田区について、知らないことが多かった	